

# 競技上の注意事項とお願い

1. 本記録会は、2015年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および、本大会の開催要項によって運営する。
2. 招集の時刻は以下のとおりとするので、厳守のこと。

　トラック競技　　競技開始の30分前に開始し、20分前に完了する。

　フィールド競技　競技開始の50分前に開始し、40分前に完了する。

招集所(競技者係)は、第2ゲートに設ける。

3. トラック競技で800m以上の種目は右腰に腰ナンバー標識を着けること。

　いずれも招集時に競技者係より受取り、フィニッシュ後、直ちに競技者係に返すこと。

4. 走幅跳と三段跳のナンバーカードは胸部(前面)にのみ着け、背部(後面)には着けない。

5. スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。

　ただし、走高跳及びやり投げは12mm以下とする。

　雨天練習場以外の建物内を通行する際は、必ずスパイクシューズを脱ぐこと。

6. 競技用器具は主催者が用意したものを使用することとする。ただし、個人所有の用器具を使用したい場合は、競技開始1時間前までに係員の検査を受けること。検査は用器具庫1(第4ゲート付近)で行う。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。

7. バーの上げ方は次のとおりとする。

　走高跳　男子　1m50から2m00までは5cmきざみ、その後は3cmきざみ。

　女子　1m25から1m55までは5cmきざみ、その後は3cmきざみ。

　棒高跳　男子　2m80から4m00までは20cmきざみ、その後は10cmきざみ。

　長さを競うフィールド競技は3回の試技とする。

8. 男子投てき種目の用器具の重さは、以下のとおりである。

	一般	高校	中学(少年B)
砲丸投	7. 260kg	6. 000kg	5. 000kg
円盤投	2. 000kg	1. 750kg	
ハンマー投	7. 260kg	6. 000kg	

9. 不正スタートは、競技規則第162条7を適用する。(一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。)

10. 大会開始前の場内での練習は8時~9時までとする。補助陸上競技場は8時~競技終了までとする。

　いずれも1・2レーンは中・長距離練習、3~5レーンはスタート練習、6~8レーンはハードル練習とする。練習時のハードル設置は全てスタートから3台目までとする。

11. 補助陸上競技場でのやり投の練習は不可とするが、助走練習は可とする。また、ちょるる広場でのハンマー投・円盤投の練習は役員の指示に従って行うこと。 いずれも、安全には各自で十分注意して行うこと。

12. フィニッシュ後の移動は、全て第2ゲート方向にダッギアウトを通りスタート地点に戻る。

　※ホームストレート側は通行禁止とする。

13. 競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人の責任において処置すること。

14. •弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないこと。

　・競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

　・競技場敷地内は全面“禁煙”です。正門付近での喫煙もご遠慮下さい。